

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎ 0120-232-711 (東京)
☎ 0120-094-777 (大阪)

単 元 株 式 数 100株

公 告 の 方 法 電子公告により行う

公告掲載URL
http://www.xcat.co.jp/ir-info/
electronicnotification/index.html
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

当社IRサイトにおいて、最新のIRニュースから業績・財務情報をはじめ、詳細なIR情報を開示しております。是非ご覧ください。

<http://www.xcat.co.jp/ir-info/>



第43期 株主通信 2015年4月1日～
2016年3月31日



証券コード: 2307

Contents

イントロダクション	1
ごあいさつ	2
トップメッセージ	3
主要経営指標	5
業種別売上構成	6
特集 本社移転	7
NEWS	9
会社概要/株式の状況	10

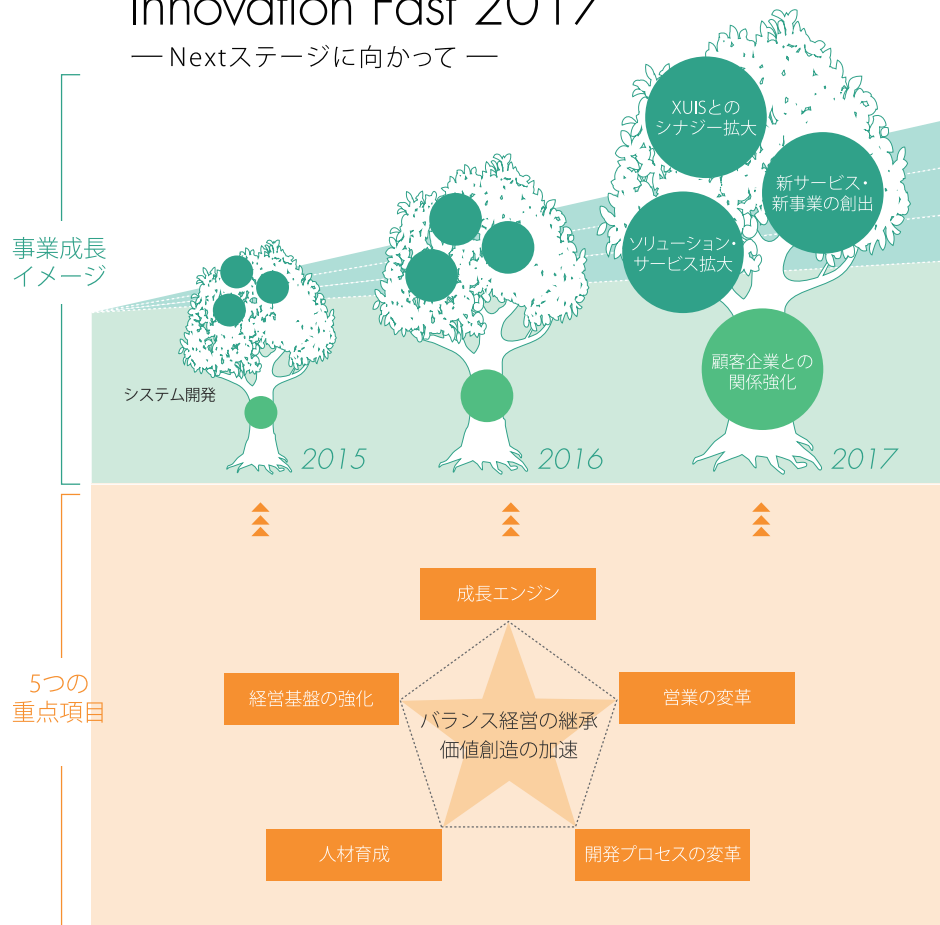


中間経営計画の取り組み

2015年度から推進する中期経営計画「Innovation Fast 2017」は、システム開発を安定拡大事業として顧客との関係を強化しながら、ソリューション拡大や新サービス創出などとともに、子会社とのシナジー拡大で、新たな成長を目指すものです。この実現に向け、5つの重点項目によるバランス経営を進めています。

Innovation Fast 2017

— Nextステージに向かって —



成長エンジン

得意分野の推進とともに、積極投資で新サービス・新事業の創出にも取り組みます。また、より一層の成長・拡大を目指し、事業提携やM&Aも推進します。

営業の変革

顧客志向マーケティングによる、顧客特性、顧客ニーズの把握により、競争優位性のある最適な提言を行い、お客様との信頼関係強化を進めます。

開発プロセスの変革

付加価値創造につながるマネジメント強化、テクニカルスキル向上に向かって、PMP資格取得及びCMMILレベル5への推進体制を強化します。

人材育成

先端技術の社内展開や高度専門資格保有者の育成を推進します。またダイバーシティを意識した人材活用を進めます。

経営基盤の強化

利益を最大化する経営を推進するとともに、グループ経営によるシナジー効果で当社ブランドの価値向上に努めて、経営基盤の強化を図ります。



代表取締役会長

牛島 豊

代表取締役社長

井上 貴功

グループ一丸となり、社会にITで貢献することで、Nextステージに向かって成長を続けてまいります。

心技の融和

企業理念

クロスキャットは、知識・技術・創意という知的要素である『技』を高め、お客様には『心』で対応する。つまり『心技の融和』をモットーとして社会に貢献します。

技術と感性

経営理念

私たちは、企業理念にある『心』の本来は誠意であり、時には意欲・忍耐・信念をも包含すると考えます。従って、どんな困難な局面においても『ハート』を失わないよう努めます。私たちは、先進的なアプリケーション開発技術と、多様な運用のノウハウを駆使し、ユーザーへの総合的かつプロフェッショナルなサービスの提供に努めます。私たちは、常に時代を見る眼と、みずみずしい感性を持ち、世のトレンド、環境にフレキシブルな対応ができるよう努めます。

当期の概況

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。ここに第43期(2015年4月1日～2016年3月31日)の事業をご報告いたします。なお、2015年6月にユニチカ情報システム株式会社(現株式会社クロスユーアイエス)を子会社化したことで、当期より連結決算へ移行しております。

当期の日本経済は、政府による経済対策や日銀による金融政策のもとで、景気に緩やかな回復が見られましたが、個人消費の回復が進まず、中国経済及び新興国経済の減速や資源安による影響で先行き不透明な状況となっております。

情報サービス業界においては、政府の成長戦略に「IoT」や「ビッグデータ活用」等のIT技術の積極的な活用による需要が期待されるなか、高度技術を保有するIT技術者不足の影響で厳しい競争が続きました。

こうしたなか、当社は子会社取得によるシナジーの

拡大など、積極的なビジネスを展開しました。その結果、当社グループが得意とする金融系の中でも銀行分野が好調に推移したことに加え、製造分野も子会社の貢献で大幅に拡大したことで、当期の売上高は93億96百万円となりました。営業利益は売上増とともに、赤字プロジェクトの減少、稼働率の改善による増収効果があったものの、本社移転に係る費用が発生したことで5億15百万円となり、経常利益は5億37百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3億52百万円となりました。

中期経営計画について

現在推進している「Innovation Fast2017」では、2018年3月期に売上高112億円、経常利益8億円の目標を達成するため、「成長エンジン」「営業の変革」「開発プロセスの変革」「人材育成」「経営基盤の強化」の5つを重点項目として展開しています。

「成長エンジン」では、新サービス・新事業の創出と

して、「CC-Smartシリーズ」の販売を開始。今後もオリジナルソリューションの拡充・拡販を推進していきます。また、事業連携では、ORACLE社との連携でBIクラウドサービス、BI/DB高速化サービスの提供を開始しました。また、M&Aにより子会社も取得しました。今後も提携先や子会社とのさらなるシナジーを目指します。

「営業の変革」では、顧客志向マーケティング強化のため、マーケティング推進部署を設置。ビジネスプランの企画・実施やセミナーなど、積極的な販促活動を展開していきます。

「開発プロセスの変革」では、付加価値創造につながるマネジメントとテクニカルスキル向上を見据えた施策検討を開始。コーチング研修や資格取得サポートの強化を図っています。

「人材育成」では、率先して若手人材を先端分野へ配置しているほか、高度専門資格の取得に向けた社内教育を実施。また、ダイバーシティも推進し、多様な

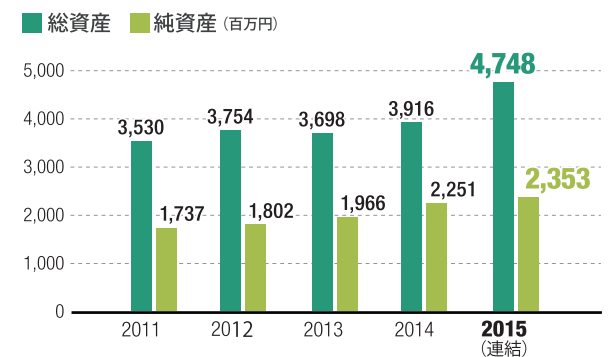
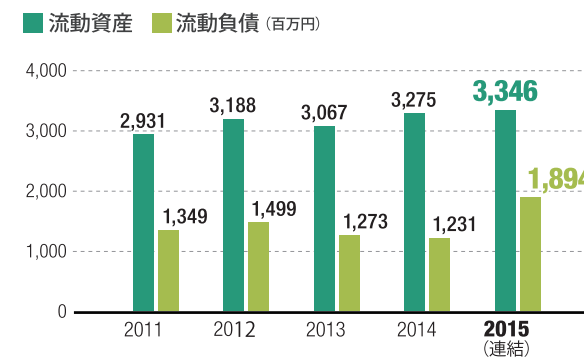
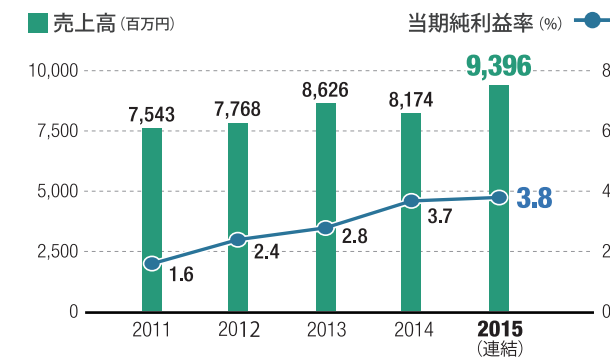
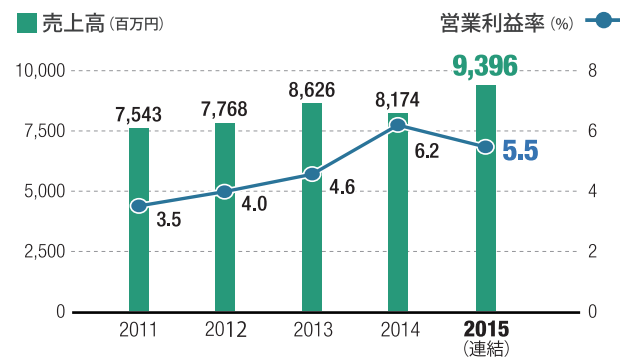
人材を登用してまいります。

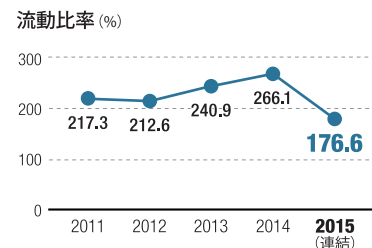
「経営基盤の強化」では、新価値指標による収益向上とグループ経営によるシナジー効果や情報発信活動の推進等によりブランド価値の向上に努めます。

来期の見通し

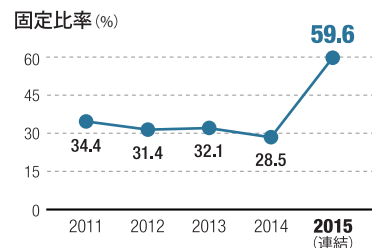
来期も引き続き厳しい状況が続くことが予想されているものの、当社グループは、営業部門を機能的に再編し、システム開発事業の安定拡大と社内蓄積された業務ノウハウを活かしたソリューションビジネスの展開を図り、また、子会社との連携強化を進めることで、来期は売上高104億円(前年比10.7%増)、営業利益6億円(前年比16.3%増)、経常利益6億円(前年比11.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億60百万円(前年比2.0%増)の増収増益を見込んでいます。

財務ハイライト

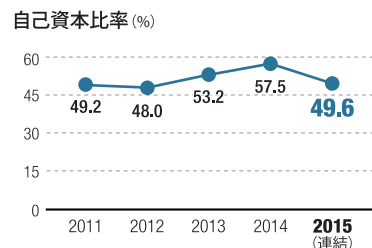




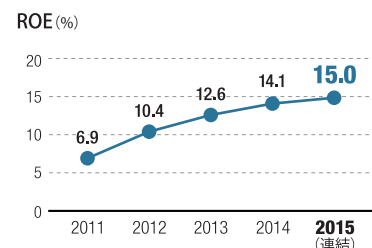
本社移転及びM&A等による資金増加があり低下しました。



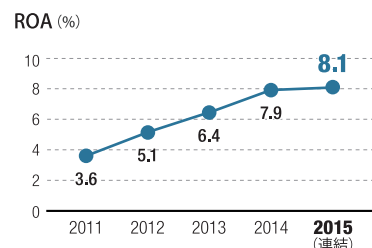
本社移転により固定資産が増えたため上昇しました。



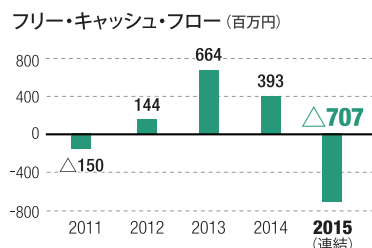
子会社買収等により総資産が増加したため低下しました。



株主資本も増加しましたが、増益となったことで上昇しました。



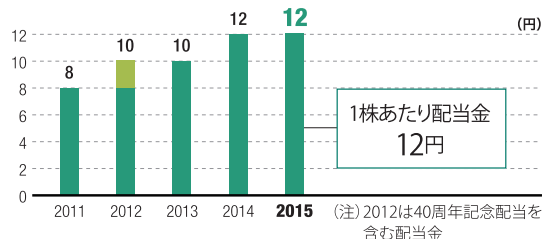
子会社買収等で総資産が増加しましたが、増益となったことで上昇しました。



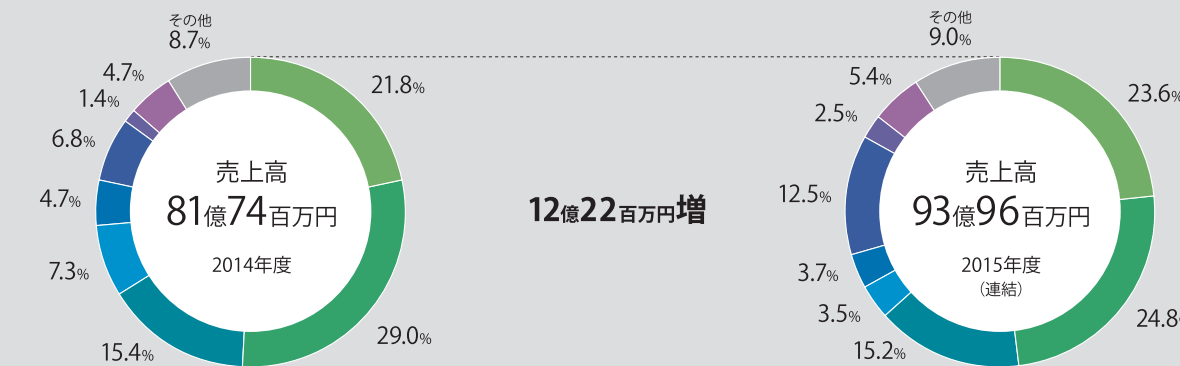
本社移転及びM&A等による支出によりマイナスに転じました。

配当について

利益配分については、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主様に対する利益還元を継続していくことを基本方針にしています。当期は、前期に引き続き12円とすることになりました。



2015年度クロスキャストの業種別売上構成



クロスキャストは、クレジット、金融を中心に、さまざまな分野へ事業を展開。
“独立系の情報サービス企業”の強みを活かし、幅広い視点と柔軟な発想で、顧客のニーズに応じています。

クレジット 22億14百万円

当社はクレジットの進化とともに、20年以上にわたり数多くのシステム構築(会員の与信や各種提携カード、CD・ATM業務など)を積み重ねてきました。そのなかでもVISAカードやマスターカードなどの“国際ブランドカード”と呼ばれる分野では優位な技術を保有しています。私たちの暮らしに深く浸透しているクレジットカードは、これからも、決済方法の多様化によって成長していくと見込まれています。

金融 23億29百万円

クレジット分野とともに“コア領域”の両軸を担う金融分野では、「銀行」「保険」向けのシステムを構築しています。銀行システムでは、勘定系を中心に業務システムの構築からシステム保守までを手掛け、保険においても大規模インフラ構築を得意分野として、高品質なソリューションを提供しています。

官公庁・自治体・公共事業 14億24百万円

当社は、政府の新IT戦略の柱である“電子政府”の実現の一翼を担い、全国規模のインフラ整備やシステム保守を手掛けてきました。また、ガス会社の営業システムなども高い評価をいただいています。近年では、当社独自で入札・落札した開発案件を高品質で納入し、さらなる実績を積み上げています。

公営競技 3億31百万円

競馬、競輪、競艇、オートレースなどの「公営競技システム」の開発に30年以上携わり、幅広いノウハウを蓄積。投票系から情報系までの公営競技運営システムを提供しています。

通信 3億47百万円

通信会社が提供するネットワークが正常に動作するように24時間・365日の監視をし、故障時の即時対応などで通信会社からの信頼を得ています。また、携帯電話会社の顧客管理システムの開発、携帯電話で使用するネットワークシステムのインフラ構築にも取り組んでいます。

製造 11億69百万円

食品・飲料の販売・マーケティング・経営管理などの“戦略情報”に加え、生産工場における“品質管理情報”を提供し、企業活動を支えるシステムを開発。子会社は製造に強いため、製造の構成比が増加しております。

流通 2億32百万円

流通業に係る管理システム等を開発しています。

報道出版 5億3百万円

TV対応システムを主とし、さらに営業を支援するシステムを開発しています。

New Office, New Workstyle!

ワークスタイルの変革、そしてさらなる飛躍を目指し、
本社を移転しました。



1 コミュニケーションとクリエイティビティを加速させる環境

入社した時に好きな席を選べる「フリーアドレス制」を導入。オフィスの至る所にソファや椅子を置き、自由な雰囲気の中で、社員同士が気軽にコミュニケーションできる環境を整えました。さまざまなアイデアが共有され、ビジネスモデルの変革や提案型ビジネスの推進といった新たなビジネスの創造が加速することはもちろん、それぞれが持つ暗黙知（明文化されていない知識や情報）の共有により、開発力の強化も進んでいます。



フリーアドレス制になった「オフィスエリア」



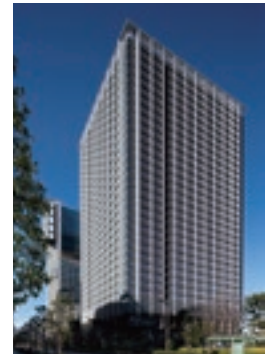
打ち合わせや食事などで活用できる「コラボエリア」

新本社 3つのポイント

2016年2月に、クロスキャットは本社を移転しました。オフィス機能をワンフロアに集約させ、業務がさらに効率化。新たなフィールドから、さらなる飛躍を目指します。

2 国内最高レベルの免震構造、環境配慮型ビル

新本社を置く品川シーズンテラスは、国内最高レベルの免震構造を導入し、地震発生時の被害を最小限に抑えて事業を継続させることが可能です。さらに、自然エネルギーを活用する省エネシステムの採用で、国内最高水準の環境性能を実現しています。新本社は、社会への責任を果たしながら事業を推進するために必要な「事業継続計画（BCP）の策定」と「環境への配慮」という2つの先進性能を兼ね備えています。



3 アクセスの向上

新本社は、品川駅港南口から徒歩約6分。駅に近くなったことで、営業効率が向上しました。さらに、来社のしやすさから、ビジネスに直結するセミナー参加者の増加に加え、学生へのアピール力が高まったことで就職希望者が増えて優秀な人材採用が進むことも期待できます。



受付の壁面には「X」を装飾。ご来社するお客様や学生に当社を強く印象づけます。



新オフィスには、多くのソファやテーブルを設置。コミュニケーションを高め、独自のアイデアを出し合います。



20階に位置し、展望は抜群。レインボーブリッジや東京タワーなどを眺めて、リフレッシュ。

▶ 子会社のクロスユーアイエスのご紹介

2015年6月、株式を取得したユニチカ情報システム株式会社の子会社化に伴い商号を株式会社クロスユーアイエスに変更し、クロスキャットグループとしての営業を開始しました。クロスユーアイエスは、ユニチカで培ってきた製造関連のシステム開発ノウハウを活かした「受託開発」、大規模インフラのトータルコーディネートに強みを持つ「インフラサポート」、実績の豊富な「パッケージ販売」の3つが事業の柱。今後はグループのシナジー効果を最大限に活かし、さらなる事業拡大を目指します。



名 称	株式会社 クロスユーアイエス
本 社	大阪府大阪市中央区南船場4-2-4
設 立	昭和62年1月7日
資 本 金	1億円
従 業 員 数	72名

▶ 当社オリジナルソリューションを拡充

当社では中期経営計画に基づく重点項目として、新サービス・新事業の創出や顧客志向マーケティングを強化しています。

ワークスタイル変革をサポートする当社ソリューション

Microsoft Skype for Businessの
スマート活用をサポートする

CC-Smartシリーズ

CC-SmartContacts

社員名簿アプリ

CC-SmartPopup

メッセージ即時通知アプリ

CC-SmartEscort

来客受付アプリ

CC-SmartReservation

会議室利用効率化アプリ

様々な勤務形態や過重労働・残業抑制を
サポートするクラウド型勤怠管理サービス

CC-BizMate

CC-BizMate

- ・ 労務管理・コスト管理の見える化
- ・ 予定・実績管理機能、ワークフロー機能、工数・作業時間管理機能
- ・ 携帯・スマホからの入力・申請・承認
- ・ パートタイマーやアルバイトの勤怠管理機能を追加

会社概要/ 株式の状況

2016年3月31日現在

会社概要

商 号 株式会社クロスキャット(証券コード2307)
 設 立 1973年6月
 資 本 金 4億59百万円
 売 上 高 93億96百万円(連結)
 事業内容 システムソリューション
 スタッフサービス
 従業員数 614名(連結)(2016年4月1日現在)
 認証登録 ISO27001認証 ISO9001認証
 プライバシーマーク認定 一般労働者派遣事業
 有料職業紹介事業 電気通信事業

事業所

本 社 〒108-0075 東京都港区港南一丁目2番70号
 品川シーズンテラス
 TEL:03-3474-5251(代表) FAX:03-3474-5085
 仙 台 支 店 〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院二丁目
 1番65号 花京院プラザ
 TEL:022-215-6661(代表) FAX:022-215-6688

役員(2016年6月29日現在)

代表取締役会長 …… 牛島 豊
 代表取締役社長 …… 井上 貴功
 取締役常務執行役員 …… 前田 耕司
 取締役常務執行役員 …… 佐藤 武次
 取締役常務執行役員 …… 三嶋 峰雄
 取締役執行役員 …… 増田 雅己
 社外取締役 …… 天野 忠彦
 常勤監査役 …… 田丸 俊次
 監査役 …… 遠藤 正
 監査役 …… 五味 洋行
 執行役員 …… 飯野 貴博
 執行役員 …… 伊藤 隆
 執行役員 …… 根本 博史
 執行役員 …… 酒井竜太郎
 執行役員 …… 松田 耕治

株式の状況

発行可能株式総数 …… 35,800,000株
 発行済株式総数 …… 9,210,960株
 株主数 …… 4,127名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
クロスキャット社員持株会	859,800	9.33
佐藤順子	738,000	8.01
尾野貴子	687,160	7.46
牛島豊	444,600	4.82
小野田亜紀	362,000	3.93
磯田晶子	275,000	2.98
大久保尚子	275,000	2.98
田崎冬子	270,000	2.93
並木豊	267,000	2.89
明治安田生命保険相互会社	240,000	2.60

所有者別分布

